

浦和歯科医師会・水曜会，浦和市，2007年10月17日。

- 6) 福田純一，林孝文，丸山智：「リンパ節疾患」CPC耳下腺原発リンパ性肉腫をともなう粘表皮癌：転移か原発か？。平成18年度口腔三学会合同研修会千葉市，2007年8月4日～5日。
- 7) 寺尾恵美子：口蓋裂児の言語訓練。衛生士研修会，新潟市，2007，7，20。
- 8) 飯田明彦：「口唇口蓋裂」。長岡赤十字病院看護学校講義，長岡市，2007，12，4。
- 9) 藤田 一：歯科的個人識別の基礎と実際～法医解剖例から大規模災害事例まで～。長岡歯科医師会平成19年度臨床座談会，長岡市，2008年3月8日。

【科学研究費等】

- 1) 研究代表者 寺尾恵美子：フェロー法による二段階口蓋形成手術法実施症例の長期言語成績について。平成19～21年度日本学術振興会科学研究費補助金，若手研究 (B)，計1,900千円。
- 2) 研究代表者 小山貴寛：凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜の治療機転を解明する。平成19～21年度日本学術振興会科学研究費補助金，若手研究 (B)，計3,300千円。
- 3) 研究代表者 高木律男：バイオマーカー発現定量による口腔癌の高精度個性診断の実用化。平成17～19年度日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (B) (2)，計1,302千円。
- 4) 研究代表者 星名秀行：MMP-1 遺伝子多型 2G アリルは口腔癌発症のリスクを増加させる。平成18～19年度日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (C)，計3,500千円。
- 5) 研究代表者 児玉泰光：口唇口蓋裂発生メカニズムと p53 遺伝子依存性アポトーシスの先駆的研究。平成18～19年度日本学術振興会科学研究費補助金，若手研究 (B)，計3,400千円。
- 6) 研究代表者 永田昌毅：培養骨膜細胞と FGF2 の増殖分化誘導による歯槽骨増生法のインプラントへの応用。平成18～19年度日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (C)，計3,600千円。
- 7) 研究代表者 高木律男：A-GTR による唇顎口蓋裂の破裂縁組織延長。平成19～20年度日本学術振興会科学研究費補助金，萌芽研究，計2,200千円。
- 8) 研究代表者 藤田 一：免疫関連遺伝子多型を用いて口腔多発癌に有用な疾患感受性マーカーを探る。平成19～20年度日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (C)，計3,500千円。
- 9) 研究代表者 安島久雄：下歯槽神経障害に対するリコンビナント神経栄養因子の再生促進効果。平成19

～20年度日本学術振興会科学研究費補助金，若手研究 (B)，計3,300千円。

- 10) 研究代表者 児玉泰光：人工受精卵およびコンソミックマウスを用いた放射線誘発マウス口蓋裂感受性遺伝子の検索。平成19年度新潟大学プロジェクト推進経費，若手研究者奨励研究，計688千円。
- 11) 研究代表者 池田順行：関節症患者にみられる顎関節滑膜組織の退行性変化の解析。平成19年度新潟大学プロジェクト推進経費，若手研究者奨励研究，計680千円。

【学会賞受賞】

- 1) 第32回日本口蓋裂学会優秀ポスター賞。
児玉泰光，Sobhan Ubaidus，生越章，小野和宏，小栗由充，齋藤功，遠藤直人，高木律男：多発性線維性骨異形成症患者における両側性口唇口蓋裂の治療経験。第31回日本口蓋裂学会総会学術集会，草津市，2007年5月24日～25日。
- 2) Sobhan Ubaidus，M. Li，Oda K.，Maeda T.，Takagi R. and Amizuka N.: Histochemical assessments on the distribution of the osteocytic lacunocanalicular system. The 29th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Honolulu, Hawaii, USA, Sep 16-19, 2007.

摂食機能再建学分野

【論文】

Binte Anwar R, Tanaka M, Kohno S, Ikegame M, Watanabe N, Nowazesh Ali M, Ejiri S: Relationship between porotic changes in alveolar bone and spinal osteoporosis. J Dent Res, 86(1): 52-57, 2007.

Baba K, Igarashi Y, Nishiyama A, John MT, Akagawa Y, Ikebe K, Ishigami T, Kobayashi H, Yamashita S: The relationship between missing occlusal units and oral health-related quality of life in patients with shortened dental arches. Int J Prosthodont, 21(1): 72-74, 2008.

Ejiri S, Tanaka M, Watanabe N, Anwar B.R, Yamashita E, Yamada K, Ikegame M: Estrogen deficiency and its effect on the jaw bones, J Bone Miner Metab, 26(6), 2008, (in press).

松井理恵，河野正司，五十嵐直子，山田一穂：切端咬合を呈する骨格性下顎前突症例における食物摂取時の開口運動と頭部運動との関係。補綴誌，51：250-259，2007。

丸山 満, 河野正司, 澤田宏二, 本間 済, 根岸政明 : 上顎臼歯頰側の咬合面形態の変化が食物動態と食物粉碎能力に与える影響. 補綴誌, 51 (3) : 563-571, 2007.

山田一穂, 野村章子, 伊藤圭一, 丸山 満, 田中みか子, 小林 博 : 歯科訪問診療における Silicon-Model-System を応用した総義歯治療. 新潟歯学会誌, 37 (1) : 23-29, 2007.

藤井芳仁, 河野正司, 林 豊彦, 本蔵義信, 小林 博 : 磁気センサを用いた連続記録可能な上下の下顎位測定装置の開発. 補綴誌, 51: 741-750, 2007.

寺田員人, 朝日藤寿一, 小野和宏, 八木 稔, 吉羽邦彦, 小林正治, 飯田明彦, 櫻井直樹, 竹石英之, 毛利 環, 松山順子, 田中 礼, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 知野優子, 吉岡節子, 大内章嗣, 北村絵里子, 齋藤 功, 齊藤 力, 児玉泰光, 高木律男, かづきれいこ : 新潟大学医歯学総合病院 (歯科) における口蓋裂診療班の活動について. 日本口蓋裂学会雑誌, 32 (1) : 43-56, 2007.

櫻井直樹, 小林 博, 高木律男, 荒井良明, 西山秀昌, 安島久雄, 高田佳之, 佐藤一夫, 福井忠雄, 鈴木一郎 : 顎関節症患者遠隔診断支援システムの開発. 新潟歯学会雑誌, 37 (2) : 215-216, 2007.

【研究成果報告書】

田中みか子 : 「歯科骨ドック」実現に向けたヒト歯槽骨の組織切片3次元多重再構築法の確立. 平成19年度新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究), 2007年.

田中みか子, 小林 博, 渡邊清志, 飛田 滋, 岡田直人, 佐藤直子, 山田一穂 : デモンストレーション映像の個別提供による教育の効率化. 平成19年度新潟大学授業改善プロジェクト, 2007年.

櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 鈴木一郎, 八木 稔, 野村修一, 高木律男, 山田一尋, 小林 博, 西山秀昌, 加藤一誠, 野村章子, 丸山 満, 飛田 滋, 本間 済, 寺田員人, 荒井良明, 星名秀行, 井上 誠, 福島正義, 田口 洋, 豊里 晃 : ネットワークを活用した顎関節症, 咀嚼・嚥下障害患者の総合的診断支援システム構築. 平成16-19年度日本学術振興会研究費補助金研究, 基盤研究 (B) (2) (継続) 課題番号 16390552, 2007年.

細貝暁子 : 顎関節症者の下顎頭骨形態変化の発症機構を下顎運動論と咬合論から解明する. 平成17-19年度科学

研究費補助金, 若手研究 B 課題番号 17791382, 2007年.

【講演・シンポジウム】

小林 博 : 顎運動及び筋電図検査法. 日本顎口腔機能学会第5回顎口腔機能セミナー, 岐阜県養老町, 2007. 8. 26-28.

小林 博 : 咬合・顎運動がどのように身体に關与するか. 第16回日本全身咬合学会, 千葉, 日本全身咬合学会雑誌, 13 (2) : 15-18, 2007.

【国際学会発表】

Yamashita E, Tanaka M, Sakurai N, Stegaroiu R, Rezwana BA, Kobayashi H, Ejiri S: Micro-structural observation with μ CT and histological analysis of an alveolar bone biopsy from a planned implant site. The 2nd joint meeting of the Japan prosthodontic society and the greater New York academy of prosthodontics, Tokyo, 2007. 10. 20-21, pp: 58, 2007.

Kaneko A, Yamada Y, Kobayashi H, Takeuchi S, Yamashita E: Head posture distribution in the job, measured by a remote acceleromenter. The 2nd joint meeting of the Japan prosthodontic society and the greater New York academy of prosthodontics, Tokyo, 2007. 10. 20-21, pp: 113, 2007.

【学会発表】

Kobayashi H, Hayashi Y, Yamada Y: Effects of heat treatment and polishing on fatigue strength of cast occlusal rests using Ag-Pd-Cu-Au alloy. The 5th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics. 第116回日本補綴歯科学会学術大会, 神戸, 2007. 5. 20, 補綴誌, 51 (116回特別号) : 269, 2007.

田中みか子, 江尻貞一, 山下絵美, 山田一穂, 甲斐朝子, 小林 博 : ビスフォスフォネート全身投与によるサル下顎骨の顎骨壊死. 第116回日本補綴歯科学会学術大会, 神戸, 2007. 5. 20, 補綴誌, 51 (116回特別号) : 182, 2007.

櫻井直樹, 荒井良明, 高木律男, 林 孝文, 野村修一, 西山秀昌, 安島久雄, 高田佳之, 佐藤一夫, 福井忠雄, 細貝暁子, 加藤一誠, 宮島 久, 岡崎敦子 : IPTV 電話を応用した顎関節症遠隔診断の試み. 第20回日本顎関節学会, 仙台, 2007. 7. 15, 第20回日本顎関節学会プログラム抄録集 : 97, 2007.

朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 吉羽邦彦, 小林正治, 飯田明彦, 櫻井直樹, 竹石英之, 毛利 環, 松山順子, 田中 礼, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 北村絵里子, 大内章嗣, 齋藤 功, 齊藤 力, 児玉泰光, 高木律男, かづきれいこ:新潟大学医歯学総合病院(歯科)における口蓋裂診療班の活動について. 草津, 2007. 5. 24, 日本口蓋裂学会雑誌, 32(2):63, 2007.

池田順行, 荒井良明, 西山秀昌, 山田一穂, 高田佳之, 小野由紀子, 櫻井直樹, 佐藤一夫, 安島久雄, 山田裕士, 嵐山貴徳, 庭野将広, 高木律男:歯科医師臨床研修における新潟大学医歯学総合病院・顎関節治療部の関与. 第20回日本顎関節学会, 仙台, 2007. 7. 15, 第20回日本顎関節学会プログラム抄録集:95, 2007.

荒井良明, 櫻井直樹, 佐藤一夫, 目黒真依子, 高木律男:当院における顎関節症に対するメタルプリントを用いた咬合治療の検討. 第20回日本顎関節学会総会・学術大会, 仙台市, 2007. 7. 15. 第20回日本顎関節学会プログラム・抄録集:98, 2007.

竹内聡史, 河野正司, 細貝暁子, 金城篤史, 甲斐朝子, 小林 博:座位における下顎タッピング運動に随伴する体幹動揺の出現様相. 第40回新潟歯学会, 新潟, 2007. 4. 14, 新潟歯学会雑誌, 37(1):72, 2007.

竹内聡史, 河野正司, 細貝暁子, 金城篤史, 甲斐朝子, 小林 博:下顎タッピング運動に随伴する体幹動揺の立位と座位の違い. 日本顎口腔機能学会第38回学術大会, 名古屋, 2007. 4. 22, プログラム・抄録集:20-21, 2007.

甲斐朝子, 河野正司, 小林 博, 竹内聡史:下顎タッピング運動における下顎と頭部の運動開始点の時間差. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2007. 7. 14, 新潟歯学会雑誌, 37(2):64, 2007.

甲斐朝子, 河野正司, 小林 博, 竹内聡史:頭部運動の調節から見た下顎タッピング運動の運動開始点の比較. 平成19年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 宇都宮, 2007. 10. 7, プログラム・抄録集:16, 2007.

松尾 朗, 千葉博茂, 高橋英俊, 江尻貞一, 田中みか子, 山下絵美:歯槽骨の微細構造と腰椎BMD, 骨代謝マーカーの関係について. 第27回日本骨形態計測学会, 佐世保, 2007. 6. 1, 骨形態誌, 17(1):S120, 2007.

江尻貞一, 田中みか子, 山下絵美, 川瀬晃道:テラヘルツ波を用いた硬組織のイメージング. 第49回歯科基礎

医学会学術大会・総会, 札幌, 2007. 8. 30-31, J Oral Biosci, 49(Suppl):179, 2007.

昆はるか:側方滑走時のガイド修正により顎関節症状が改善した前歯部開咬患者の補綴治療. 平成19年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会, 栃木, 2007. 10. 7, プログラム・抄録集:21, 2007.

野村章子, 江川広子, 丸山 満, 伊藤圭一, 野村修一, 山田一穂:歯科訪問診療チームの診療と口腔ケアを容易にする改良型診療ユニット. 第25回日本老年学会・第18回日本老年歯科医学会学術大会, 札幌, 2007. 6. 20-22, プログラム・抄録集, 2007.

【受賞】

田中みか子, 江尻貞一, 山下絵美, 山田一穂, 甲斐朝子, 小林 博:第116回日本補綴歯科学会学術大会, 優秀ポスター賞(デンツプライ賞). ビスフォスフォネート全身投与によるサル下顎骨の顎骨壊死. 第116回日本補綴歯科学会学術大会, 神戸, 2007. 5. 20, 補綴誌, 51(116回特別号):182, 2007.

【その他】

proceeding

Sakurai N, Kohno S, Hayashi T, Nishiyama H, Takagi R, Yamada K, Nomura S, Arai Y, Terada K, Miyajima H: A trial of Web-based teledentistry system for temporomandibular disorders patients. Journal of the Japanese Society for the Temporomandibular Joint, 19(1):79-80, 2007.

櫻井直樹:義歯のメンテナンス. 新潟大学医歯学総合病院研修医セミナー, 2007. 6. 20.

加齢歯科補綴学分野

【論文】

1) Chikazu D, Tomizuka K, Ogasawara T, Saijyo H, Koizumi T, Mori Y, Yonehara Y, Susami T, Takato T: Cyclooxygenase-2 activity is essential for the osseointegration of dental implants. Int J Oral Maxillofac Surg, 36:441-446, 2007.

2) Honma M, Okada A, Nomura S, Inoue M, Yamada Y: Relation between Bolus Size and Hyoid Movement during Normal Ingestion in Humans. J Oral Biosci, 49(3):180-189, 2007.

3) Okada A, Honma M, Nomura S, Yamada Y: Oral behavior from food intake until terminal swallow. Physiology & Behavior, 90:172-178, 2007.